

## 国際学術シンポジウム

### 総合テーマ:「多様性と人権, そして社会福祉教育の課題」 サブテーマ: 多様な福祉問題の解決と支援の方法論をめぐって

#### 【シンポジウム趣旨】

いま、日本社会は、多重苦（大震災の復興の遅れ、デフレ不況、超高齢少子化、人口減少等々）の只中にあります。このような環境の中で、社会福祉教育は、多様化する福祉ニーズと福祉サービス利用者の権利擁護に対応しうるような社会福祉援助（ソーシャルワーク）の技術開発、福祉・介護専門職の人材養成と職域の拡大、福祉・介護現場での配置が喫緊の課題となってきました。政府は、これから成長する新産業として環境・医療・福祉・介護などの分野を位置づけ、とりわけ福祉・介護分野への人材確保や職域拡大、待遇改善等の政策を打ち出しています。多様な福祉問題の解決と支援の方法論をめぐって社会福祉教育に求められる「実践力」として、解決策に関する仮説を立て客観的事実に基づき検証できる能力を高め、他の専門職と協力してチームワークで業務を推進する力量の蓄積が求められています。本シンポジウムでは、社会福祉教育における同様の課題を抱える日本・韓国・中国において福祉ニーズの多様性とサービス利用者の権利擁護を中核に据えた社会福祉教育の課題と展望を探ります。

#### 【シンポジスト及びコーディネーター】

日本：埋橋孝文（同志社大学教授）

発表テーマ：ソーシャル・アジアに向けて検討すべきこと

湯澤直美（立教大学教授）

発表テーマ：福祉ニーズの多様性とジェンダー平等

韓国：金滄淑（Sun-suk Kim）キム・ソンスク（韓国交通大学校社会福祉学科教授）

発表テーマ：人権基盤の児童福祉サービスモデル開発に関する研究

金東基（Dong-gi Kim）キム・ドンギ（牧園大学校社会福祉学科教授）

発表テーマ：障害者の脱施設化のための自立生活支援体系構築に関する研究

中国：銭寧（Ning Qian）（中国福祉研究専門委員会副理事長、雲南大学社会学／ソーシャルワーク学部主任、教授）

#### コーディネーター

野口 定久：日本福祉大学教授、一般社団法人日本社会福祉学会副会長・国際学術交流促進委員会委員長

包敏：広島国際大学准教授、一般社団法人日本社会福祉学会国際学術交流促進委員会委員